

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	数学	科目	数学A	単位数	2	学年・学科	2学年・全科
教科書	最新 数学A		副教材	パラレルノート数学 I +A			

学習目標	図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と日常生活について認識を深める。また、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
学習方法	協同学習から学び合う態度を養いつつ、知識・理解の定着のため小テストを適宜実施します。また、家庭学習定着のため、副教材と課題プリントを活用した家庭学習課題を出題します。

学習評価	評価の観点	評価の観点の趣旨	重み付け				
			100%	60%	40%		
a	知識・技能 (専門教科は知識・技術)	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	前期中間	知識・技能(技術)	35%	30%	5%
				思考・判断・表現	35%	30%	5%
				主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%
					100%	60%	40%
			前期末	知識・技能(技術)	35%	30%	5%
				思考・判断・表現	35%	30%	5%
b	思考・判断・表現	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。	前期末	知識・技能(技術)	35%	30%	5%
				思考・判断・表現	35%	30%	5%
				主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%
					100%	60%	40%
			後期中間	知識・技能(技術)	35%	30%	5%
				思考・判断・表現	35%	30%	5%
c	主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	後期中間	知識・技能(技術)	35%	30%	5%
				思考・判断・表現	35%	30%	5%
				主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%
					100%	60%	40%
			後期末	知識・技能(技術)	35%	30%	5%
				思考・判断・表現	35%	30%	5%
		主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%		

学期	単元名 (題材)	学習内容 (小単元)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期中間	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数	場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	○			具体的な問題を通じて、どのような場合に順列の考え方が適用できるかを見極めることができる。	・授業態度 ・授業課題 ・小テスト等 ・定期考査
				○		ベン図を利用して集合を図示することで、要素の個数を考察することができる。	
					○	組合せの考え方を利用して、図形の個数や同じものを含む順列の総数などが求められることに興味・関心をもつ。	
前期末	第2章 図形の性質 第1節 三角形の性質	三角形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	○			積事象、和事象の意味を理解し、具体的な事象に対して、積事象、和事象を集合で表すことができる。	・授業態度 ・授業課題 ・小テスト等 ・定期考査
				○		2つの独立な試行を行うとき、その結果として起こる事象の確率について考察することができる。	
後期中間	第2節 円の性質 第3節 作図	円の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	○			円周角の定理の逆を用いて、4点が同一円周上にあることを調べることができる。	・授業態度 ・授業課題 ・小テスト等 ・定期考査
				○		作図の各過程において、平面図形のどの性質を用いているかを考察できる。	
					○	正多面体が5種類である理由に関心をもち、その理由を調べようとする。	
後期末	第3章 数学と人間の活動	さまざまな人間の活動の中から、整数を中心とした数学的な要素を見出し、数学の内容の理解を深めると同時に、現実の事象を、数学を用いて考察できるような力を培う。	○			公約数、最大公約数の意味を理解し、それらを求めることができる。	・授業態度 ・授業課題 ・小テスト等 ・定期考査
				○		問題解決の過程を振り返って、割り算の余りの性質について考察を深めることができる。	
					○	互除法の計算を逆にたどることにより、1次不定方程式の整数解の1つを必ず見つけられる優秀性に関心をもつ。	